

全国男子駅伝

和歌山過去最高9位

田辺工業高の2人も活躍

第24回全国都道府県対抗男子駅伝が20日、広島市の平和記念公園前を発着点に7区間48キロのコースであり、和歌山県が過去最高の9位と健闘した。記録も2時間21分29秒で過去最高だった。(3面に関係記事)

1、4、5区を高校生、2区と6区を中学生、3区と7区を社会人・大学生の選手が走った。和歌山県は1区で田辺工業高校3年の都築勇貴君が序盤から飛び出し、混戦の中26位でたすきをつないだ。2区の古佐田丘中学校2年、植阪嶺児君で28位となり、3区で今年の箱根駅伝1区を走

2年の伊藤凜々斗君が14位でアンカーにたすきをつなぎ、愛知製鋼の寺内将人さんが5人を抜いて9位でゴールした。

これまで県の最高順位だった第4回大会の26位を大幅に更新した。前回は38位。タイムは第19回大会で記録した2時間23分16秒を1分47秒縮めた。

県チームの藤井歩監督(田辺工業高校陸上競技部顧問)の話、選手たちは力を合わせてよく頑張った。県の番号の30番を超えたら「よかったです」と言われる中、上位を目指してチームが一丸になった。今の選手力だけでなく、今まで出場した選手や指導者の思いが集約されてこのよう



4区と5区の中継所で和歌山北高校の家吉新大君(左)からたすきを受け取る田辺工業高の野村優作君—20日、広島県で(読者提供)

な結果を残せたのだと思う。◇ 県代表の記録は次の通り。かっこ内は区間記録と区間順位、かっこ外はチーム順位。

- 1区(7キ) || 田辺工業高 3年、都築勇貴(20分55秒、26位)
- 2区(3キ) || 古佐田丘中2年、植阪嶺児(9分7秒、32位)
- 3区(28キ) || 28位
- 4区(8・5キ) || 青山学院大 4年、橋詰大慧(24分21秒、5位)
- 5区(16キ) || 4区(5キ) || 和歌山北高2年、家吉新大(14分39秒、9位)
- 6区(12キ) || 5区(8・5キ) || 田辺工業高 3年、野村優作(25分10秒、10位)
- 7区(3キ) || 11位
- 8区(6キ) || 3キ || 異中2年、伊藤凜々斗(9分3秒、24位)
- 9区(14キ) || 7区(13キ) || 愛知製鋼、寺内将人(38分14秒、10位)
- 9位